

人は人を浴びて人にぬる

～ふるさと形原を愛する形中生～



リモート Remote 総会 ウェブ Web 選挙



沢山の意見で盛り上がった生徒総会



役員選挙はタブレットで投票

9/29(木)、前期の生徒総会と役員選挙が行われました。コロナ禍、一昨年度は校内放送で、昨年度からはリモートで生徒総会をおこなっています。

今年は時間が足りなくなるほど、質問や意見が出されました。形中生1人1人が、生徒会活動を自分事としてとらえ、学校を良くしていくために真剣に考えている姿を見てうれしく思いました。

前期生徒会執行部は、生徒に「プチ目標」をもたせたり、「チームズアンケート」を使って沢山の意見を取り入れたりして、学校生活が充実するように工夫してくれました。また、常設資源回収では、ビンゴ形式を取り入れたことで、沢山の資源(8月時点で35,390円の収益)を集めることができました。特に印象に残っているのは、校内のあいさつ運動を地域(形原駅)へと広げてくれたことです。ボランティア希望者が100人以上集まったことも驚きでした。「羽ばたけ、形中」のスローガンを見事に達成してくれたと思います。執行部のみなさんありがとう。

総会后、後期生徒会役員選挙が行われました。生徒のみなさんが大人になった時の選挙はWeb投票で行われることが予想されます。そこで、時代を先取りして、今年からタブレットを使って投票することにしました。投票と同時に集計が終わり、しかも正確。本当に便利な世の中になったと感じました。そんな新しい方法で選ばれた後期生徒会役員のみなさん(右記)。豊かな発想で、新しい形原中をつくってください。

後期生徒会役員選挙結果

【会長】 山崎勝道(3年)

【副会長】 山口海人(3年)

神谷紅那(3年)

【執行委員】

(3年) 水野淳矢 ・ 磯貝和奏

(2年) 中村将徳 ・ ジュニアティ ハルミ

(1年) 三浦惟咲 ・ 長田いちご

1年 地域の方から話を聞く会を終えて

あじさいの里の話を聞いて…



あじさいの里を作るのに、大勢の人が協力し、たくさんの苦労があったことを知り、びっくりしました。

たくさんの人の協力で今のあじさいの里があるので、これからももっと大切にしたいなと思いました。

たくさんの色があってとてもきれいなので、みんなにもあじさいの里のことを知ってほしいです。 (R.T)

三河湾の話を聞いて…

三河湾の魚を守っていくためには、漁師さんが増えることが大切で、「私には関係ない」というのがはじめの考えでした。しかし、私たちが三河湾の魚を食べて、「三河湾の魚はうまいんだぞ！」と声をあげることが三河湾の魚を守り、有名にしていけることを知り、私にもできることがあるんだと思いました。

三河湾の魚は、環境に恵まれ栄養も優れているなど、良い所がたくさんあるので、それを私たちが勉強して



伝えていきたいと思いました。「三河湾の魚はすごいぞ！」と声をあげるだけで役に立てるなんて嬉しいので、メヒカリの唐揚げをこれからもおいしく食べます。 (K.Y)

ふるさと形原の魅力を知ろう

赤い電車の話を聞いて…

今まで当たり前にあると思っていた赤い電車には、赤字や存続問題があることを知り、驚きました。そのために応援団やさまざまな企画が計画されていることがわかりました。



「自分も何かできることがあるか」や「この赤い電車を残していくために何かしないと」など、考えることができました。 (Y.S)

ロープ工業の話を聞いて…

形原のロープが、ディズニーランドやディズニーシーに使われていることにすごくビックリしました。ロープができるまでにすごく長い道のり(原系→ヤーン→ストランド→ロープ)があり、大変だと思いました。話を聞いて、最初は興味がなかったロープに興味が出てきました。 (R.I)

形原の祭りの話を聞いて…

私はお祭りに興味を持ち、ネットで調べたことがありましたが、自分では有力な情報が得られませんでした。実際にお話を聞いて、形原にはどんなお祭りがあるのかをくわしく知ることができました。「七福神踊り」の衣装に大金をかけていたのには驚きましたが、それだけ伝統を守るといった強い思いがあるんだなと思いました。お祭りがなくなってしまうたらさみしいし、続いてほしいので、私も一度参加してみて、形原の良い所に出会いたいです。 (I.F)

